

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	＊	＊	＊
	○	商店街（常務理事）	販売量の動き	・夏らしい気候になり、夏物等のセール商品はよく売れ、全体の売上がけん引している。後半は気温が高くなり過ぎる日もあり、高齢者をメインターゲットとする店舗では客足が鈍り、売上が伸び悩んだ。酷暑ではあるが、インバウンドは増え続けており、商店街自体のにぎわいは変わらずに上向いている。
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上は低迷し続けているが、外商売上が好調であり、前月比プラスとなった。
	○	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・インバウンドや高額品を中心に好調に推移している。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年を上回っている。
	○	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・比較的暑い日が続き、エアコンの売上が前年比127%で推移している。また、パリオリンピック等のスポーツイベントの影響でテレビの販売も好調に推移している。全般的には良いが、白物家電の販売台数は落ちてきている。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	来客数の動き	・入館者数が前年を超えており、3か月前の前年比より4ポイントほど増加している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・株価高に円安などの状況が多少なりとも落ち着いてきた感がある。若しくは、この状況に慣れてきたのかもしれない。ただし、仕入価格の高騰は依然として続いており、難しい状況が継続中である。客も創意工夫して個々の楽しみ方を見だしている。
	□	商店街（代表者）	それ以外	・15年かけて計画した街づくりが、10年前の着工寸前に首長が選挙で交代し廃案になったが、今年ようやく計画を修正し再着工にこぎ着けた。ただし、このデジタル社会のスピードのなかで時代背景も様変わりした。首長の能力資質によって一週遅れの街づくりがどのような結果を生むか、関心を持って見守っている。
	□	スーパー（統括担当）	販売量の動き	・来客数の減少、買上点数の減少の傾向は変わらない。値上げによって単価が上がっているため、やむを得ないとみられる。
	□	スーパー（財務担当）	単価の動き	・節約志向が強いなか、高単価のウナギは好調であった。
	□	スーパー（人事）	お客様の様子	・人の動きは変わらず活発でマイナスな変化はみられない。
	□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・猛暑のため、飲料の売上は順調だが、主力の米飯や日配食品等の食品類が足を引っ張っている状況である。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・価格上昇を加味すると、客単価が前年割れし、来客数も前年割れとなっている。
	□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・来客数の前年割れ傾向が変わっていない。
	□	コンビニ（商品担当）	単価の動き	・円安により輸入品の価格が高騰し、原材料価格に影響が出ている。そのため販売価格が上がるが、客の買上点数が減り、純粋に利益が出るわけではない。
□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今月はバーゲンセールが始まったばかりで、そこそこ良くなるはずだが、出だしが余り良くない。現場の従業員によると、暑すぎて客足が遠のいているとの声があり、厳しい状況が見られる。	
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・まだまだ物価高が続いており、全体的に見れば景気が良いとはいえない状況である。大企業はともかく、中小企業はかなり苦しんでいる様子が多いとみられる。	
□	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・今月の売上は前年比97%程度で推移している。気温が高すぎて顧客の来店減につながっている。	

	□	乗用車販売業 (営業担当)	販売量の動き	・オーダーストップ車が多く、前年同月比85%と厳しい状況である。
	□	乗用車販売店 (役員)	来客数の動き	・来客数も大きく変わらず、商談数にも大きな変化はない。
	□	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・地元の有力観光施設の修理も完了し、集客は好調に推移しているが、オーバーツーリズム回避のため、今後大幅な集客拡大策はとりにくい。
	□	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・猛暑やパリオリンピックなどの影響で、外出を控えているためか、人の動きが良くない。
	□	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べると、売上と客の動きの状況は余り変わっていない。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてからも、人の動きは鈍化している。また、タクシードライバーやハイヤードライバーが不足しており、40%程度の稼働率で営業している。
	□	観光遊園地(主幹)	来客数の動き	・来場者数が、新型コロナウイルス感染症発生前と同等で推移している。
	□	競艇場(マネージャー)	販売量の動き	・物価高の影響は続いており、遊興に回せる余裕資金は変わらず推移している。
	□	設計事務所(所長)	お客様の様子	・設備投資をするかどうかを迷っている客が何人もいる状態である。
	▲	一般小売店[生花](経営者)	来客数の動き	・先日までの大雨や連日の暑さのため、日中の来店が少なくなっている。物価上昇の影響で、余り値上がりしていない商品や単価の低い物を探し、価格重視で購入する傾向がみられる。
	▲	一般小売店[酒](経営者)	販売量の動き	・異常な暑さの影響で外出を控えるためか、飲食店への納品が減少している。
	▲	家電量販店(店員)	販売量の動き	・ボーナス商戦・パリオリンピック需要に期待していたが、来客数も伸びず販売量も伸びていない。
	▲	旅行代理店(部長)	販売量の動き	・物価高騰等の影響により、個人消費傾向に停滞感がみられる。
	▲	タクシー運転手	来客数の動き	・暑い夏の影響で街に出掛ける人が少なくなっており、四国遍路の仕事も猛暑のため大幅に減少している。春よりもかなり暇になっている。
	▲	美容室(経営者)	来客数の動き	・6月の売上が良かったため、5～6月と比べて7月は売上が落ちている。
	▲	美容室(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきたため、当店もスタッフの感染によって営業ができなかったり、来店をお断りするなどのダメージがあった。
	×	一般小売店[文具店](経営者)	来客数の動き	・7月に入り、前月と比べて売上が極端に減少している。毎年夏は春秋冬に比べて多少は下がるが、今年は特にひどい状況である。現在、他業種も含めて原因を調査中である。
	×	一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・平日の客入りが明らかに悪くなっている。週末の客単価も下がり、来客数も減少している。
企業 動向 関連 (四国)	◎	*	*	*
	○	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・タオルの店頭販売が最も多くなる時期であり、今年も順調である。特にインパウンド向け、また、土産品として手軽に購入できる小物の発注が多い。
	○	木材木製品製造業(営業部長)	受注量や販売量の動き	・受注量が回復基調にあり、前年比100%に近い状態まで回復している。各住宅メーカーの受注速報も回復しており、下期の売上回復に期待している。
	○	電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・再生資源開発の仕事をしており、地域の竹を肥料にする事業を始めているが、少しずつ客にも受け入れられるようになっており、徐々に良くなっている。
	○	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・公共、民間共に受注できそうな物件が多少出てきた。
	○	通信業(企画・売上管理)	受注量や販売量の動き	・東京本社の手顧客のCM出稿が堅調である。
	□	農林水産業(職員)	受注価格や販売価格の動き	・青果物の卸売市場価格は、果菜類や茎葉菜類等を中心に入荷減・単価高で推移した。ただし、末端の小売は活発に動いているわけではなく、品薄品目をお買い得価格で販売している量販店が好調であり、全般的には鈍い状況である。

	□	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・造船関連鋳鋼品の受注は安定している。破碎機などの産業機械関連や自動車のプレス機械、橋りょう関連の鋳鋼品の受注は依然として停滞している。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気は変わらない。
	□	通信会社（総務担当）	それ以外	・ボランティア活動や地域のイベントといった社外イベントへの参加者数は少しずつ増加していたが、直近では変動が小さくなくなり、おおむね落ち着いたとみられる。人流も大きく増える見通しは立たないよう見受けられる。
	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・資材価格の値上がり落ち着いていることに加え、受注も安定している。
	□	税理士事務所	取引先の様子	・業績に変動がみられない。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(四国)	□	人材派遣会社（総務部長）	求職者数の動き	・人材ビジネス業界では求職者数不足で厳しい状態が続いている。
	□	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・周辺企業では人員が充足していない状況が長く続いており、求人数自体は高い状態を継続しているものの、人員充足のめどが立っていない。中小企業においては特に正社員の幹部候補の役割を担う人材の採用に苦戦しており、景気は良くなっているとはいえない。
	□	職業安定所（求人開発）	求職者数の動き	・新規求職者数には若干の減少傾向があるものの、より良い条件を求めて転職活動に安定所を訪れる在職者や、育児や介護、その他の理由でしばらく仕事に就いていなかったが、昨今の物価高で家計を支えるために仕事を探しに安定所を訪れる無業者数の増加もみられる。そのため、有効求職者数は減少せず滞留しており、結果的に3か月前と余り変わらないとみられる。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・人手不足の状況が続いており、ますます厳しい企業も見受けられる。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・民間企業の広報費の削減が止まらない。
	×	—	—	—